

第7回

万葉の郷とっとりけん

# 全国高校生短歌大会

日時 令和七年十一月八日（土）

午後一時半から

会場 とりぎん文化会館 第二会議室

■主催 鳥取県

■後援 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社  
新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ  
テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 鳥取県ケーブルテレビ協議会（順不同）

## 次 第

司会 田中 奏子

### 1. 開会

### 2. 準決勝

題 先鋒「時」、中堅「楽」、大将「表」

#### 第1回戦

尚学館・さくらんぼ♡(延岡学園尚学館高等部) × 名古屋高等学校・大いなる雅(名古屋高等学校)

#### 第2回戦

ちぺろん(神奈川県立光陵高等学校) × うるぺぎにんじん(高田高等学校)

### 3. 決勝

題 先鋒「土」、中堅「行」、大将「然」

【休憩】 ※大会の進行状況により休憩時間を変更する場合があります。

### 4. 表彰式

### 5. 講評

### 6. 短歌トークセッション

## 審査員

### チーム部門

### 本選大会



#### 大辻 隆弘 氏

『未来』編集発行人・選者。  
現代歌人協会会員、現代歌人集会理事、日本文藝家協会会員、中部日本歌人会副委員長、宮中歌会始選者。  
第29回斎藤茂吉短歌文学賞、第12回島木赤彦文学賞、第3回佐藤佐太郎短歌賞、第15回小野市詩歌文学賞(短歌部門)、第29回若山牧水賞を受賞。  
歌集『景德鎮』『樟の窓』評論集『近代短歌の範型』など著書多数。  
2019年度NHK短歌選者。高校教諭(国語科)。



#### 穂村 弘 氏

歌人。1962年札幌市生まれ。短歌のほかに評論、エッセイ、絵本、翻訳などを手がける。  
著書に『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)』『ラインマーカーズ』『シンジケート(新装版)』『はじめての短歌』『短歌のガチャポン』『蛸足ノート』『迷子手帳』など。『短歌の友人』で伊藤整文学賞、『鳥肌が』で講談社エッセイ賞、『水中翼船炎上中』で若山牧水賞を受賞。



#### 江戸 雪 氏

1993年に短歌を始める。河野裕子のもと「塔」短歌会にて活動した後、2021年夏に同人誌「西瓜」、2022年夏に同人誌「Lily」創刊。大阪市咲くやこの花賞文芸部門受賞。  
歌集は『昼の夢の終わり』『声を聞きたい』『空白』『カーディガン』ほか8冊あり、入門書『今日から歌人!』がある。  
情感豊かで先進的な作風は、性別や年齢層を問わず共感を得ている。大阪市在住。

### チーム部門

### 予選



#### 大森 静佳 氏

1989年岡山市生まれ。高校時代に短歌と出会い、大学在学中に第56回角川短歌賞を受賞。  
歌集に『てのひらを燃やす』『カミュー』『ヘクタール』、評論集に『この世の息 歌人・河野裕子論』がある。  
2018年から笹井宏之賞の選考委員を務める。「塔」短歌会編集委員。



#### 小島 なお 氏

「コスモス」短歌会所属。歌人である母、小島ゆかりの影響を受け、高校生のとき、短歌を詠み始める。  
2004年、角川短歌賞受賞。2007年、第一歌集『乱反射』(角川書店)刊行。本書により、第八回現代短歌新人賞、第十回駿河梅花文学賞を受賞。  
同年、第二歌集『サリンジャーは死んでしまった』(角川書店)刊行。2020年、第三歌集『展開図』(終書房)刊行。2022年、千葉聡との共著『短歌部、ただいま部員募集中!』(岩波書店)刊行。  
2016年、2020年「NHK短歌」選者。  
2023年、第一歌集『乱反射』新装版(書肆侃侃房)刊行。  
歌壇賞選考委員。信濃毎日新聞歌壇欄選者。

## 出場チーム自己紹介

※準決勝対戦順

### 尚学館・さくらんぼ♡

延岡学園尚学館高等部  
(宮崎県)

おびたに とうこ      うけぜき まほ      もりやま ふゆ  
2年 帯谷 到子      2年 請関 真歩      2年 森山 文結

若山牧水のふるさとである宮崎県の北部・延岡から来ました。小学校も併設する私立の中高一貫校で、気心の知れた仲間と杉の木立に囲まれて過ごしています。私たち三人は文芸部に所属しており、短歌や俳句作りに親しんでいます。本大会には初応募で初出場の初心者です。審査員の先生をはじめ、参加校の皆さんと短歌の話ができることを楽しみにしています。

### 名古屋高等学校・大いなる雅

名古屋高等学校  
(愛知県)

たけだ なおや      いのうえ そうた      とみた ひかる  
1年 武田 直弥      1年 井上 蒼太      1年 冨田 輝

こんにちは、名古屋高等学校・大いなる雅です。僕たちは全員1年生ということもあり、まだ短歌を始めたばかりですが、言葉の奥深さや表現の楽しさに日々魅了されています。また名古屋高校では同じ韻文である俳句もやっているのですが、この大会では、俳句では伝えられない思いを五七五七七の短歌に乗せて表現していけたらと思います。まだ経験は浅いですが一首一首に心を込めて詠んだので是非楽しんでいただけたら嬉しいです。

### ちぺろん

神奈川県立光陵高等学校  
(神奈川県)

うやま ろん      うえくさ ゆら      もりおか ちひろ  
1年 宇山 龍      1年 植草 結良      2年 森岡 千尋

光陵文芸部は部員28名で短歌に力を入れて取り組んでいます。「ちぺろん」は全国大会の経験豊富な森岡(2年生)を中心に、入部して6か月で850首を詠んでいる植草(1年生)、この大会がうれしい全国デビューになる期待の宇山(1年生)で構成されたチームです。みんな短歌が大好きで、鳥取で他校と対戦できることを楽しみにしています。予選で敗退した6チーム18名の仲間の部員たちの想いも背負って、初優勝を目指します。

### うるぺぎにんじん

高田高等学校  
(三重県)

くれまつ のの      たかとり ゆり      とよだ けんじ  
2年 榎松 望乃      2年 高取 ゆり      2年 豊田 拳司

お久しぶりです。三重県からはるばるやってきました高田高校文芸部です。

今年は全員2年生の仲良しメンバーで挑みます。2年連続出場の高取を団長に、二度目の大舞台に榎松、豊田がのぼります。これを書いている今も決勝の歌が未完成でピンチですが、少しでも私たちの作品が皆さんの心に残ることを願いつつ、鳥取のおいしいご飯や砂丘に心を躍らせながら頑張りたいと思います。出場校の皆さん、たくさん話して仲良くなりましょう！よろしくお願いします！

# 準決勝品

## 第2回戦

先攻 ちぺろん (神奈川県立光陵高等学校)			後攻 うるぺぎにんじん (高田高等学校)		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
でも確かに時刻表には載っていない蛹の最期のような夕立	「好き」だけで楽になれるよな世界線 このままでいいと君を信じた	見つめれば流れないけど見返せばもう移ってる 時って雲だ	「天才」の微笑み方が思い出せない 表彰状の墨は乾いて	「楽しいことないかなあ」を拾ってくれる 消しかす集める手のように	時間 逃げてても逃げてても横にいて手を繋ごうとしてくる幽霊
森岡 千尋	植草 結良	宇山 龍	豊田 拳司	たかとり ゆり	榎松 望乃

## 第1回戦

先攻 尚学館・さくらんぼ♡ (延岡学園尚学館高等部)			後攻 名古屋高等学校・ 大いなる雅 (名古屋高等学校)		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
表情のうそもほんとも受け止めて雨の名前を君に教える	楽園へ今なら飛べる階段の先に広がる青空を見て	次こそは正解だと蹴る石が時空を超えて君に会えない	無機物が表彰される夢を見た 汗は布団にすべて吸われて	どこにでもある金賞のコロッケを詰めれば楽園は作れそう	いつまでも時間はとまるいつまでも君を好きだと言えないばかりに
森山 文結	うけぜき まほ	おびたにとうこ	富田 輝	いのうえ そうた	たけだ なおや

準決勝の題：先鋒「時」 中堅「楽」 大将「表」

※示された題(漢字)そのものを短歌に詠みこむこと。



個人部門では、自由題の短歌作品を募集し、全国から四百一首の応募がありました。特別賞は五名の審査員に一首ずつ選定いただきました。

大辻 隆弘 審査員選

夕暮れはひとりのわたし青だけを選んで入れたプレイリスト聴く

鳥取県立鳥取東高等学校 3年 圓城寺 陽菜乃

穂村 弘 審査員選

逆光のあなたが好きでおはようは踊り場で言う、と、きめている

千葉県立千葉高等学校 3年 土屋 沙音

江戸 雪 審査員選

真夜中のぱらりとめくる単語帳隣の弟ぐつすり寝ている

鳥取県立鳥取東高等学校 3年 櫛田 ななみ

大森 静佳 審査員選

雀の子鈴のような声であり石器時代の形容詞思う

渋谷教育学園幕張高等学校 2年 矢野 麟太郎

【大森静佳 審査員 講評】

石器時代には、ごく簡単な言葉があったにしても、今と同じようなこまかい形容詞や形容動詞などはきつと存在しなかったでしょう。もともと人間の心の叫びや興奮と直結した、みじかい言葉があっただけなのではないか。鈴をこころがすような可愛い子雀の声を耳にして、まだ「鈴」や金属が存在しなかった石器時代のひとびとは、こんな鳥の声をどんなふうに聴いていただろうか、と遠い時代へ思いを馳せた一首。人間がはるか太古から感じてきた音、言葉、感覚をめぐって、さまざまに思考が刺激される、スケールが大きく魅力的な歌です。

小島 なお 審査員選

光あれと神が言ったら光ある そんな単純だから眩しい

名古屋高等学校 3年 福田 匠翔

【小島なお 審査員 講評】

「神は『光あれ』と言われた。すると光があった。」  
聖書のなかで神が発した最初の言葉であるとされている。  
ここでいう「光」は何なのだろう。

平和のこと、美しさのこと、正しさのこと、命のこと。

いずれにしても神のたつたひとことがこの広大な世界を創造したのだという。

日々、傷ついたり、傷つけてしまったり、目に見えない心の問題によって、

世界はどんどん複雑に脆くなってゆくように感じられる。

けれど、私たちが生きる今は、さかのぼればそんな単純によって作られているのだ。

光あれ。この言葉は悩みに騒る自身の心を照らす言葉であり、

隣にいる他者の心をよく見つめるための光源になる言葉なのだろう。

## チーム部門

選者 大森静佳氏  
小島なお氏

図書館で君と手と手がふれあった 恋かどうかは表紙で決まる

宮城県気仙沼高等学校 1年 石原莞奈

どこにでもある金賞のコロッケを詰めれば楽園は作れそう

名古屋高等学校 1年 井上蒼太

まだうまく鳴らせませんが私という楽器は風に吹かれています

神奈川県立光陵高等学校 3年 猪野田涼奈

見つめれば流れないけど見返せばもう移ってる 時って雲だ

神奈川県立光陵高等学校 1年 宇山龍

次こそは正解だろうと蹴る石が時空を超えて君に会えない

延岡学園尚学館高等学校 2年 帯谷到子

楽しいねって手を繋がれて言われたら変声期越しの声が出てきた

茨城県立結城第二高等学校 2年 木下侑

弦楽器みたいに張り詰めた人のひとつ結びがほどかれていた

星野高等学校 1年 関口和奏

「楽しいことないかなあ」を拾ってくれる 消しかす集める手のように

高田高等学校 2年 高取ゆり

ばあちゃんのばあちゃんのママの墓表には桜の花が一輪ついてる

神奈川県立光陵高等学校 2年 永井穂果

革靴を踏み鳴らしてた君でした腕のシャーレに時間を飼って

富山県立富山中部高等学校 2年 中村昌樹

表面はツルツとしてて欄間から刺す光みたい あなたの恋は

静岡県立沼津東高等学校 1年 濱田栞

文字を打つ度に紅茶が息を吸う 時間は河口のように揺らめく

神奈川県立光陵高等学校 2年 藤井綾音

でも確かに時刻表には載っていない蛹の最期のような夕立

神奈川県立光陵高等学校 2年 森岡千尋

表情のうそもほんとにも受け止めて雨の名前を君に教える

延岡学園尚学館高等学校 2年 森山文結

## 個人部門

選者 大森静佳氏  
小島なお氏

うつそうと茂る故郷の杉を見てあなたに会いたい恋心重る

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 芦谷佳音

床上にアルキメデスのずばらし円周率はまだまだ続く

星野高等学校 2年 新井咲那

サングラスをかけてる間は悪だから白鳥達にエサを投げてる

神奈川県立光陵高等学校 1年 石井桃衣

ありがとう言わないと症候群の発作を起こす三月の私

愛知県立時習館高等学校 1年 市川満ちる

もう大人予備軍なんだと気がついて海の青さがつんと漂う

神奈川県立光陵高等学校 3年 猪野田涼奈

でたらめな願いを人に込められる星は降るべき夜を選んで

栃木県立大田原高等学校 3年 植木光太郎

かの星が遠い昔の遺跡ならこの鍵穴もないかもしれない

海城高等学校 2年 大山圭一朗

生い茂る森のごとくに豊かなる母の帽子の影が伸び行く

星野高等学校 1年 小倉佐紀

折り紙で戦闘機折る弟がうちで一番反戦主義者

延岡学園尚学館高等部 2年 帯谷到子

陰口に聞き耳立ててしまうとき頭蓋に泥の入る感覚

高田高等学校 3年 神田実咲

月初め英語の時間のペアトークまだまだ遠い大きなリユック

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 小谷美虹

青空を作りたくって僕はただ空のバケツに顔を突っ込む

神奈川県立光陵高等学校 1年 小林央奈

ちりとりで取れぬ埃のひとつにこの教室を狭しと思ふ

星野高等学校 3年 齊藤栞

爪切りがどこかへいった真夜中のChat GPTはやきう

高田高等学校 2年 櫻井つむぎ

神話にはなっていないけど僕たちの日々は確かに実在してる

宮城県気仙沼高等学校 3年 佐藤みちる

本日は曇りのち春、気だるさがほどけた空に花降るでしょう

神奈川県立光陵高等学校 3年 佐野晃太

小説の表紙を飾る向日葵の孤独 小さく風が吹いてる

神奈川県立光陵高等学校 2年 照田佳苗

論点の飛躍はよく指摘されます好きです宇宙旅行しましょう

仙台市立仙台高等学校 3年 田巻侑華

## 個人部門

選者 大森静佳氏  
小島なお氏

逆光のあなたが好きでおはようは踊り場と言う、と、きめている

千葉県立千葉高等学校 3年 土屋沙音

超特価九十円の古本の明朝体を撫でている夜

高田高等学校 2年 豊田拳司

木製の海のように軽やかに足音ならして恋は流動

中村よばん

「死後」という言葉をきみの声で聞きそこから春を覚えていない

横浜市立みなと総合高等学校 3年 成澤きらり

光あれと神が言ったら光ある そんな単純だから眩しい

名古屋高等学校 3年 福田匠翔

体重をのせて歩くにふさわしい地をまだ私は見つけていない

つくば開成高等学校守谷校 2年 福田実紅

スーパーに売られてる肉いつの日かおなじ空を見た豚かもね

神奈川県立光陵高等学校 1年 眞壁 春菜

あたたかな風に吹かれて目を覚ます時計の針がそっぽ向いてる

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 升本実玖

どうしても呼吸をすれば痛かった夏のくぼみに君は座って

延岡学園尚学館高等部 2年 森山文結

チョコレイトとグリコのあいだ横切って私はぼくにきよならを言う

東京都立武蔵高等学校 3年 安田湖夏

本音って誰かにぶつけるものですか 信玄ソフトのきな粉にむせる

神奈川県立光陵高等学校 2年 柳原萌々子

雀の子鈴のような声であり石器時代の形容詞思う

渋谷教育学園幕張高等学校 2年 矢野麟太郎

僕はまだ大人の味とか分からんわなすの煮浸し三つもいらん

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 山本峻太郎

赤本に 付箋の花火 咲かせながら 君をしまつて 医者になりたい

鹿児島第一高等学校 3年 吉永葵

海外のプレスミントを噛み砕くきみの家の町の駅のホーム

広尾学園高等学校 2年 和佐野花帆









## SNSで情報発信中！

Facebook・X（旧Twitter）・YouTubeで、県内の文化イベントなどの情報を発信しています。

Facebook



X（旧Twitter）  
@artpiatottori



YouTube



文化芸術イベント情報をお寄せください！  
&  
是非、チェックしてください！

アートピアとっとり

検索



ご来場ありがとうございました